

水毛生家文書に伝わるいけばな

本町通りに建つ水毛生家住宅（市指定文化財）には、古流という流派のいけばなに関する冊子が伝わっています。

『古流生花門中百瓶図』は、文政七年（1824）に刊行され、古流の華人・関本理遊とその門人の作品の図が102点収められており、うち16点が加賀の門人のものです。

『古流生花松のひとしほ』は、明治十八年（1885）に刊行された古流生花の作品集です。全145点の作品のうち約120点が加賀地域の門人の作品で、うち9名が野々市の華人です。9名中8名が野々市村（現在の本町付近）在住の門人で、当時の野々市村でいけばなが盛んであった様子がうかがえます。



野々市市指定文化財 水毛生家住宅